

# オープンチャーチ出演者紹介

## 青山学院大学ハンドベル・クワイア

青山学院大学ハンドベル・クワイアは、1979年に創設された青山学院宗教センター所属団体です。

学内での礼拝奉仕やコンサートを中心に、夏には演奏旅行、冬にはクリスマス・チャペル・コンサートを開催しております。大学近郊の教会で奉仕をさせていただくこともあり、幅広く活動しています。讃美歌のほか、有名なクラシックやポピュラーなど様々なジャンルを演奏します。大学オルガニストの鷺晶子先生をコーチに迎え、現在は隊員10名で活動中です。

## ゴスペルマジシャンRito

キリスト教が語る愛や喜びを、マジックという形で表現する「ゴスペルマジック」。今の時代に必要な喜びと励ましのメッセージを、聖書を土台に、心に残る“リアル”な体験を通して届けている。

大人数を対象としたステージマジックから技巧派のクローズアップマジックまでをこなし、レパトリーは1,000を超える。

全国の教会、福祉施設、学校、企業、ウェディングパーティーなどで活躍。

Instagramで毎日投稿継続中。(@magicianrito)



## 藤嶋 昭(ふじしまあきら)

「光触媒」の研究の世界第一人者。東京大学特別荣誉教授、東京理科大学荣誉教授、他多くの大学や研究所で、顧問や理事長、名誉会員を務める。受賞歴は朝日賞、紫綬褒章、日本国際賞、恩賜発明賞など多数、2017年に文化勲章を受ける。

現在も積極的に光触媒の研究を続ける一方、子どもの理科離れを防ごうと科学教育ボランティアの支援を始め、「子どもたちを科学好きにしたい」と本を贈る活動にも取り組んでいる。

これまでに小中高校や図書館など約2千施設へ約17万冊の本を贈ってきている他、全国の小中高大学に向かい、実験を交えた講演で「身のまわりの不思議」を伝えながら科学の面白さを楽しく伝える活動をしている。日本基督教団梅ヶ丘教会会員。



## 原町田教会聖歌隊

記録によると1978年のクリスマス礼拝の中で特別賛美を担うために聖歌隊が結成されたのが最初の活動だったようです。

以来、聖歌隊は讃美という奉仕の活動を続けてきました。基本は礼拝での讃美であり、メンバーも礼拝出席者で構成されていますが、教区の音楽祭や施設でのキャロリングなど、教会の外での活動にも積極的に参加しています。演奏会にも、これまでにゲストアーティストと共演する形で何回か出演してきましたが、聖歌隊独自のプログラムは今回が初めてとなります。



## 林あまり(はやしあまり)

1963年、東京生まれ。歌人、演劇評論家。日本基督教団頌栄教会会員。高校時代、寺山修司の短歌に出会い、成蹊大学で歌人・前田透に師事。師の急逝後、マガジンハウス「鳩よ！」に短歌と劇評が掲載されたことから、書く仕事を始める。現在、紀伊國屋演劇賞審査員。成蹊大学・武蔵野大学・多摩美術大学非常勤講師。日本基督教団出版局「信徒の友」短歌欄選者。演劇雑誌「テアトロ」等で劇評執筆。

著書に歌集『MARS☆ANGEL』『ベッドサイド』、エッセイ集『光を感じるとき』ほか。作詞の新曲は、丘みどり「椿姫咲いた」(作曲:フラッシュ金子)。



こちらにもぜひどうぞ

特別伝道礼拝 7月2日(日)10:30～ 原町田教会

「贈り物は重荷か？」立教大学文学部教員 廣石望氏

この地球環境も、私たちの命も、神様からのプレゼント。

「贈り物をもって生きる」とはどういうことなのか、

聖書や歴史に詳しい廣石望先生が、わかりやすく導いてくださいます。